

第41回 野洲川健康ファミリーマラソン大会



市内から過去最多の市民ランナーが参加 マスコットキャラが国スポ・障スポPRで盛り上げ

家族連れなど市内外から参加した855人のランナーが、快晴のもとそれぞれのペースでゴールを目指しました。「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ2025」PRのマスコットキャラクターや市PR大使のもーりーも登場。サッカー元日本代表によるサッカー教室や、走り方教室も開かれ、参加者はスポーツざんまいのイベントを楽しんでいました。

3月3日 | 野洲川歴史公園サッカー場 ビッグレイク

2023 人権まつり



違いを認め合い 差別のない社会へ

差別のない社会づくりを目指して、人権について理解を深めてもらおうと開催され、49人の市民が参加しました。

開会式の後には、お笑い福祉士の社福亭もーりーさんが腹話術で人権について講話。また、音楽を通して人と人が違いを認め合うことの素晴らしさを伝える「歩・歩」の人権コンサートが行われました。

3月2日 | 地域総合センター

卒園を祝ってバイキング給食



給食の先生に「ありがとう」 友達と笑顔で「おいしいね」

もりの風こども園の5歳児56人が、卒園を前に「お祝膳」の給食を楽しみました。クラスの垣根を越えて同じテーブルを囲んだ園児たちは、毎日の食事を作ってくれた給食の先生に声をそろえて「ありがとう」を伝えました。その後、唐揚げやグラタン、フライドポテトなど好きな料理を選べるバイキング給食をおいしそうに頼張っていました。

3月12日 | もりの風こども園

大庄屋諏訪家屋敷文化サロン



石田川運河や水争い 参加者が地域の歴史を学ぶ

矢島歴史の会を講師に迎え、地域住民など25人が参加しました。参加者は「守山・矢島の歩みを探る」をテーマに、吉身から玉津(赤野井湾)に続く石田川運河を築いた岡田 逸治郎の身上と業績、古文書から見る矢島の水争いについて学びました。最後には「川の分岐をするイカリはどこか」など、地元ならではの質疑が飛んでいました。

3月9日 | 大庄屋諏訪家屋敷



守山市の人口

令和6年2月29日現在
(前月比)

人口	85,839	(+ 20)
男	42,257	(+ 3)
女	43,582	(+ 17)
世帯数	34,937	(+ 37)

続きますように！ (N)

▼春に三日の晴れなしと言われるが、暖かくなるといろいろな場所に外出したくなる気持ちは抑えきれないところだ。春といえは、真っ先に満開のサクラを思い描く人も多いと思う。わが家では、毎年、笠原桜公園の桜並木を子どもと散歩し、満開のサクラや桜吹雪を見に行くことを楽しみにしている▼今年のサクラ前線は、平年並みか、平年より早いということ、この原稿を書いている時点では、まだ肌寒くサクラは開花していないが、発行する頃はさっと、見頃を迎えているだろう。今日から新年度がスタート。天気のいい日が続きますように！



自転車で通勤している
と、日に日に
暖かい春
を肌で感じ